

学会便り 第145回秋期大会報告

第35回「女性会員の会」報告

The 35th women's meeting of the Japan Institute of Light Metals

大島 智子

Tomoko OHSHIMA

3回目のハイブリッド開催となった第145回秋期大会中、11月11日(土)12:10~13:10に入退室自由の、第35回女性会員の会をハイブリッドで開催した。参加者は合計28名(女性19名、男性7名、子供2名)。現地参加は24名、オンライン参加は4名であった。参加申込みが間に合わず、飛び入り参加となった方も数名おられた。初参加は社会人3名と学生1名の計4名だった。

前回に引き続き、より多くの方に参加いただくため今回も講演大会に参加登録していない人も参加できるようにした。会場には久しぶりにお菓子を持ち寄った。

お菓子：横濱ローズコロレ、横浜ベイブリッジサブレ、シロノワールバトン(世話人)、寒川神社クランチチョコレート(差入：寺田佳織さん)、Merry'sクッキー(差入：千野靖正先生)。

また、学会託児室を設置し、土日に延べ7名の利用があった。この場を借りて、第145回秋期大会実行委員長の東京都立大学北薮幸一先生ならびに実行委員会の皆様に深く感謝申し上げる。

1. 自己紹介：氏名・所属，ひとこと

参加者には簡単な自己紹介をしていただき、「リアルブレイクアウトルーム」と銘打って5~6名のグループに分かれて複数の提示テーマ(変えたいと思う現状の制度や提言、今“コレ”に怒っている、行ってみたい場所、その他)のうち1つのテーマを選んで話をしていただいた。

1.1 グループごとの討議

「変えたいと思う制度」では出産・育休に関して、育休明けのブランクを解消する制度があるといい、という意見が出た。「今“コレ”に怒っている」では現在の世界情勢(ウクライナ侵攻など)についての意見が出た。「行ってみたい場所」では完成前のサグラダ・ファミリアやパルテノン神殿など国内外各地の地名が挙がっていた。オンライン参加のグループは偶然全員が大学教員・元教員で、次世代のリケジョ、特に高校で物理を選択する女子学生をどう増やしていくか、をテーマに意見交換を行った。

少人数に分かれての討議は活発な意見交換の場になり、参加者からも好印象だったが、「意見交換の時間が足りない!」との不満も聞かれた。

1.2 フリー討議

中締め後にオンライン参加・現地参加者で高校の理数教育や大学受験の現状について討議を行った。大学受験の科目に数学Ⅲ(微積分、極限、複素数平面など)を含めると受験生

が減るために数学Ⅲは受験科目から外している、某女子高では理科の選択科目に物理がなく、工学系への進路が絶たれている、などが話題に挙がった。

昨夏的女子中高生向けのイベント(女子中高生夏の学校)で興味のある分野をたずねたところ、宇宙に興味のある学生が多かった。形になっているものはイメージしやすいからだろうと推察するが、「素材の面白さ」を若い世代にもっとアピールする方法を検討する必要があると感じている。



参加者の写真撮影(2023.11.11)

2. おわりに

次の第146回春期大会でも、開催形式はまだ決まっていないが、女性会員の会の開催を予定している。女性会員の会は女子学生、女性会員だけでなく、女性を応援する男性方も歓迎している。飛び入り参加大歓迎、多くの方の参加をお待ちしている。

軽金属学会「女性会員の会」

<https://www.jilm.or.jp/page-resource04>